

石岡錬一郎氏 藤里町名誉町民に推挙



推挙状の授与

7月16日、前藤里町長・石岡錬一郎氏（下モ町・73歳）に対して藤里町名誉町民推挙状が授与されました。

はじめに佐々木町長から「町は、少子高齢化や雇用場などの課題を抱えている。今後とも変わらぬご指導をお願いしたい」と挨拶が述べられ、その後、推挙状を授与された石岡氏から「町制施行50周年の節目ということで、推挙を受けることにした。名誉町民にきずをつけたいよう頑張りたい」とお言葉をいただきました。

○藤里町長に関する功績

石岡氏は、平成7年8月、衆望をになって町長に就任して以来、町民の声を行政に反映させるという基本理念のもとに、住民生活に直結した施策を中心に産業振興、高齢化対策、医療・保健等「緑と魅力あふれる町」の実現のため、地域の特色を活

かし、地域資源の活用や創意工夫による町の活性化のために積極的に取り組み町行政の進展に大きく貢献されました。

町の基幹産業である農林業対策では、農業従事者人口の減少を憂慮し、圃場の整備推進、農業法人の設立、無人ヘリの導入、産地直売施設として「白神街道ふじさと」「白神山地森のえき」の整備を図ったほか、町の特産品としての白神山水の生産販売施設を整備するなど産業基盤の確立に着実な成果を得ました。

また、氏は、自然環境と農業生産物の有効利用を図るため、エコ・グリーンツーリズム事業を通じた都市との体験交流にも力を注ぎました。

このほか、平成10年の世界遺産センターオープンに伴い、翌年には環境基本条例を制定、町の下水道及び世界遺産登録地周辺の整備を図るなど、住民の環境保護意識の高揚と自然環境保全に多大な貢献をしました。

また、町の高齢化時代を見据え、老人デイサービスセンター機能と在宅介護支援センター機能を一体化、健常者老人も含めた健康増進等総合的な高齢者福祉に対応した拠点施設として、平成12年に総合福祉センターを整備したほか、平成16年には高齢者の生活支援のためのハウス

を整備し、老人介護施設の充実を図りました。

各地域に交流施設を整備し、地域内住民のコミュニケーションを図り、その活動を推進するなど地域の活性化に努めました。

○特別地方公共団体 に関する功績

能代山本広域市町村圏組合理事として、広域的な共同事務を処理するための組合運営の充実に貢献しました。

また、山本郡養護老人ホーム組合及び北秋田市周辺衛生施設

組合副管理者として組合事業の推進と財政運営の効率化を図りました。

このほか、秋田県市町村職員互助会理事及び副理事長、秋田県市町村総合事務組合議員、秋田県市町村職員退職手当組合議員として、各組合の財政運営に大きく寄与しました。

○その他の功績

全国及び秋田県の各種協議会等の理事等を歴任し、関係省庁への陳情、請願に赴き、その団体の業務遂行にも尽力しました。

石岡氏に取り組んだ主な事業（抜粋）

時 期	事 業 名
平成 8 年 6 月 1 日	三歳未満児保育スタート
平成 9 年 6 月 1 6 日	地籍調査事業開始
平成 1 0 年 1 0 月 1 5 日	世界遺産センターオープン
平成 1 2 年 4 月	「総合福祉センター」スタート
平成 1 3 年 4 月 2 5 日	白神街道ふじさとオープン
平成 1 5 年 3 月 1 日	公共下水道供用開始
平成 1 6 年 3 月 3 0 日	単独立町まちづくり計画
平成 1 8 年	エコ・グリーンツーリズム
平成 1 9 年 5 月 2 7 日	白神山地森のえきオープン
平成 2 3 年 3 月 2 6 日	交通死亡事故ゼロ3,500日達成